

白川峠の北西 丘陵地が続く西神戸里山の春景色walk 原チャリで駆ける
2022.4.6.

里山は芽吹き 桜咲く里も春作業 新生の息吹に満ちて 春うらら
素晴らしい里山の春景色 心も晴れ晴れ、西神戸春の里歩きを楽しむ

1. 神出の里 雌岡山の春の妖精「カタクリの花」を訪ねました
数は少なくなりましたが、愛らしい姿に出会えました
2. 桜咲く押部谷 明石川土手の桜を眺めて
押部谷の枝谷 近江の里 春の里山を駆け抜けて帰る

西神戸 カタクリの里 神出 雌岡山・雄岡山 2022.4.6.

神出の里 雌岡山の春の妖精「カタクリの花」に 久しぶりに出会えました



古代伝説の信仰の山「雌岡山」の山腹は かつてあちこちにカタクリが自生するカタクリの群生地。
春 山に花が咲くと集落の娘たちは花を見にこの山に入り、神出の守り神 神出神社と良縁・安産の神 裸石・姫石の
両神社に参詣したという。

絶滅が危惧されたこのカタクリの群生地を復活するため、2003年頃から神出の人たちにより、山腹の斜面地を整
備し、カタクリの移植・栽培が進められ、この栽培地でカタクリの花が数多くみられるようになった。

でも復活を進める人たちの高齢化・気象変化等の諸要因でこの栽培地のカタクリも随分少なくなったと感じ、ここ
数年はコロナの事もあり、足が遠のいていました。

久しぶりにこの春 気にかかっていた雌岡山のカタクリに出会いに原チャリで駆け、数は少なくなっていました、
春の要請「カタクリの花」雌岡山のカタクリに出会えました。 2022.4.6. Mutsu



2013. 4.10. 西神戸 神出 雌岡山で

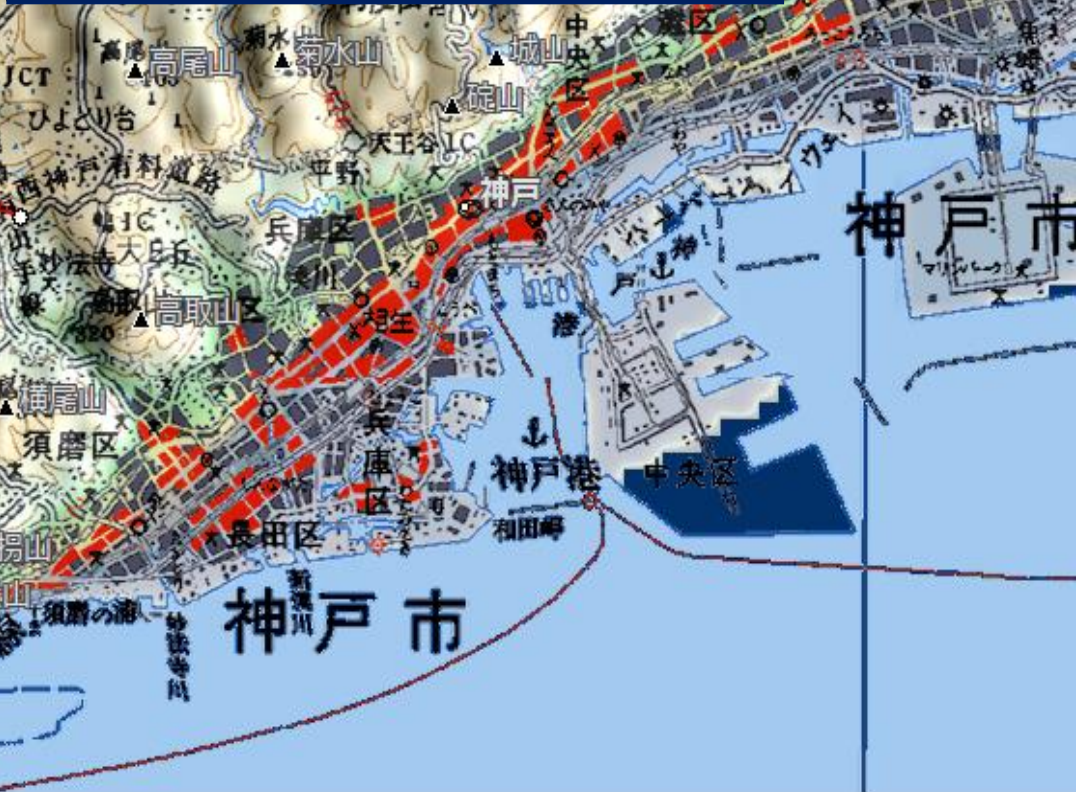


「風来坊・Country Walk2011」より
 ◎古代伝説に彩られた信仰の山
 神出 雌岡山に咲くカタクリの花 2011.4.11.

<https://infokkna.com/ironroad/2011htm/walk8/1104kandekatakuri.pdf>

◎鍛冶神大己貴命の伝説の地「神出」 その東西に秀麗な姿を見せる神奈備山 雌岡山・雄岡山 Walk 2011.3.11.

<https://infokkna.com/ironroad/2011htm/2011iron/11iron03.pdf>



古くから住み継がれてきた伝説の里「神出」のシンボル 雌岡山
かつて春の山には カタクリの花が咲き乱れる.美しい里だったという



神出南の里 田園から眺める雌岡山はほぼ子午線上にある 2022.4.6



白川峠から西へ県道65号線を西へ 芽吹いた春の里山の間を抜けると30分ほどで神出の里の南へ
正面に芽吹きが進む均整の取れた雌岡山 頂上にある神出神社も見える。足と目の加療に加え、コロナ禍で原チャリ走らせるのはほぼ6ヶ月ぶり。やつとコロナ禍も峠を越えたのか… 戸外へ出る今がチャンスと私の長年の足 原チャリ慣らしもかねて ずっと気にかかっている雌岡山のカタクリに出会いに。原チャリ乗ると気もしっかり。春の風と景色が心地よい。



雌岡山の南山裾の中央 大きな石の鳥居をくぐり参道を駆けてカタクリの栽培地へ 四季折々よく訪れ眼道
雌岡山頂上神出神社のすぐ下 山の北斜面に雑木林に包まれてカタクリ復活栽培地がある

春の妖精「カタクリの花」 気にかかっていましたが その愛らしい姿に出会えました
雌岡山頂上すぐ下の北斜面に雑木林に包まれてカタクリ復活栽培地 2022.4.6.





雌岡山頂上すぐ下の北斜面に雑木林に包まれてカタクリ復活栽培地 2022.4.6.

保護柵の扉が開かれているのが見え、うれしい保護活動継続を知る。

でも 管理の人も誰もおらず、パッと眼にはピンクの花も見つからず、放置されたままなのかと。でも目を凝らすと 数は少ないが、あちこちでピンクの花が咲いていました。



雌岡山頂上すぐ下の北斜面に雑木林に包まれてカタクリ復活栽培地 2022.4.6.


パツと眼にはピンクの花も見つからず、放置されたままなのかと。
でも目を凝らすと 数は少ないが、あちこちでピンクの花が咲いていました。



数は随分少なくなったと感じましたが、堇や雪割草など
春の野草と一緒に咲く神出の里 雌岡山春の妖精「カタクリの花」



2022春 カタクリの里 神出 雌岡山のカタクリの花 2022
雌岡山頂上すぐ下の北斜面 カタクリ復活栽培地で 2022.4.6.



2022春 カタクリの里 神出 雌岡山のカタクリの花 2022
雌岡山頂上すぐ下の北斜面 カタクリ復活栽培地で 2022.4.6.



2022春 カタクリの里 神出 雌岡山のカタクリの花 2022
雌岡山頂上すぐ下の北斜面 カタクリ復活栽培地で 2022.4.6.



2022春 カタクリの里 神出 雌岡山のカタクリの花 2022
雌岡山頂上すぐ下の北斜面 カタクリ復活栽培地で 2022.4.6.



雌岡山のカタクリ移植・栽培地では春の妖精「カタクリの花」はよく整備された栽培地ですが、雌岡山に自生する山の野草と一緒に咲いている雪割草など。カタクリ群生地復活の取組の流儀か？



カタクリの花と一緒に咲いていた雪割草(ミスミソウ)
花言葉は「自信」「信頼」



雌岡山頂上すぐ下の北斜面に雑木林に包まれてカタクリ復活栽培地 2022.4.6.



2022春 カタクリの里 神出 雌岡山のカタクリの花 2022

春の妖精「カタクリ」の花言葉は「初恋」・「寂しさに耐える」

私には春の元気をもらう花 早春 日陰の山腹の斜面で

冷たい風に立ち向かって 身を震わせる愛らしい姿に 心をゆさぶられます



最近の異常気象やコロナ禍の中で 数年ぶりに出会えた神出雌岡山のカタクリ
数は随分少なくなりましたが、堇や雪割草などや春の野草と一緒に咲く春の妖精「カ
タクリの花」に出会えてしあわせ。また、神出カタクリの里復活の取組が成就しますようお願い
しています。本当にうれしい出会いになりました 2022.4.6.



2013. 4.10. 西神戸 神出 雌岡山で



「風来坊・Country Walk」より

◎古代伝説に彩られた信仰の山 神出 雌岡山に咲くカタクリの花 2011.4.11.

<https://infokkna.com/ironroad/2011htm/walk8/1104kandekatakuri.pdf>

◎鍛冶神大己貴命の伝説の地「神出」 その東西に秀麗な姿を見せる神奈備山 雌岡山・雄岡山 Walk 2011.3.11.

<https://infokkna.com/ironroad/2011htm/2011iron/11iron03.pdf>

◎春の妖精 カタクリの花 兵庫県播磨 佐用町弦谷 2010.4.8.

<https://infokkna.com/ironroad/dock/walk/10walk03.pdf>

〔スライド動画〕

雌岡山山頂 神出神社境内展望所からの西神戸・播磨 春の大展望



カタクリの栽培地のすぐ上が神出神社が鎮座する雌岡山の山頂
桜満開の境内の南 眼下には神出の里 その先には淡路島を前に遠く神戸から播磨の大展望が広がっています。



雌岡山の山頂 神出神社展望所 2022.4.6.



雌岡山の山頂 神出神社展望所 2022.4.6.



雌岡山の山頂 神出神社展望所からの展望 2022.4.6.




雌岡山の山頂 神出神社展望所からの展望 南側 2022.4.6.
神出南の集落越しに春霞の明石大橋を眺める



雌岡山の山頂 神出神社展望所からの展望 南東側 2022.4.6.
西神工業団地・ニュータウン越しに 須磨 横尾山・振り山を眺める



雌岡山の山頂 神出神社展望所からの展望 東側 2022.4.6.
西神戸 押部谷・櫛谷等丘陵地の中央 農業公園 の向こうに
左から高塚山 高取山 横尾山が顔をのぞかせている



雌岡山の山頂 神出神社展望所からの展望 東側 2022.4.6.
一番東側に雌岡山に並ぶ神出のシンボル雄岡山が見える

雌岡山の裏側 集落の北東端 小東野池の縁から池越しに
西の山裾 神出学園・楽農センターある雌岡山の裏を眺める



雌岡山に来るといつも訪ねる建物の美しい楽農センターのある雌岡山の裏側に回って、裏側から神出の集落を抜けて、再度雌岡山の南側に出てもと来た道を帰る。



集落の北東端 小束野池の縁から池越しに美しい神出学園・楽農センターを眺める
桜満開の雌岡山の山裾の美しい春景色です。 2022.4.6.





雌岡山西の山裾 神出学園・楽農センター 雌岡山の2022春景色 2022.4.6.



雌岡山西の山裾の田圃で 雌岡山の2022春景色 2022.4.6.

雌岡山の南側へ戻って 神出南の田園の中道 来た道を南へ帰る

雌岡山の南側へ戻って 田園の中道を南へ帰る 神出神社鳥居前の子午線同が見える
雌岡山の2022春景色 2022.4.6.



雌岡山南の田園を駆けて 雌岡山の2022春景色 2022.4.6.



ブルドーザーによる畑の土起こしが始まると多くの鳥が鳥たちが集まってきて。
一瞬コウノトリもいるのか……と思いましたが、サギでした。 田圃に集まる鳥たち 田園の春景色



雌岡山のカタクリは今どうなっているのだろうか・・・
もうカタクリの花は消えてしまったのではないかと気になりながらでかけた雌岡山
数は少なくなりましたが、久しぶりに見る愛らしい姿に一安心。
久しぶりの原チャリもちゃんと走ってくれて、春の空気を胸いっぱい吸い込んで、久しぶりの戸
外西神戸の春満喫です
もう少し原チャリ走らせようと来るとき見かけた押部谷明石川沿いの桜堤
そして、近江寺のある枝谷近江の里を抜けて帰ることに。
なにはともあれ、元気に春 原チャリで駆けられたのがうれしい。
振り返ると桜並木の向こうにパステル色をまとった雌岡山
2022.4.6. 神出南の里を駆けて押部谷高和へ 原チャリで駆けつつ



古代伝説の信仰の山「雌岡山」の山腹は かつてあちこちにカタクリが自生するカタクリの群生地。春 山に花が咲くと集落の娘たちは花を見にこの山に入り、神出の守り神 神出神社と良縁・安産の神 裸石・姫石の両神社に参詣したという。

絶滅が危惧されたこのカタクリの群生地を復活するため、2003年頃から神出の人たちにより、山腹の斜面地を整備し、カタクリの移植・栽培が進められ、この栽培地でカタクリの花が数多くみられるようになった。

でも復活を進める人たちの高齢化・気象変化等の諸要因でこの栽培地のカタクリも随分少なくなつたと感じ、ここ数年はコロナの事もあり、足が遠のいていました。久しぶりにこの春気にかかっていた雌岡山のカタクリに出会いに原チャリで駆け、数は少なくなつていましたが、春の要請「カタクリの花」雌岡山のカタクリに出会えました。

2022.4.6. Mutsu



雌岡山の山頂 神出神社展望所 2022.4.6.

2. 桜咲く押部谷 明石川土手の桜を眺めて 押部谷の枝谷 近江の里 春の里山を駆け抜けて帰る

西神戸神出から自宅のある須磨妙法寺へ帰る時 いつもは西神戸の丘陵地をつなぐ県道65号神戸加古川姫路線を白川峠へ向かうのですが、今日は押部谷高和の藤原橋から北へ明石川沿いを駆けて 押部谷 明石川桜堤を眺めた後 枝谷の奥の近江の里の谷筋を抜けて帰る。

白川峠へ抜ける県道65号が通る性海寺の里の一つ北側の谷。

隠れ里のごとくひっそりと残る古い里 押部谷近江の里の春景色を眺めながら帰ることに。

この近江の里も性海寺の里と同じく 節分の「鬼おどり」が残る古い田舎の里です



明石川沿いの桜並木 押部谷西盛 福住休憩所周辺 2022.4.6.



押部谷町西盛

押部谷町栄

押部谷町細田

★福住休憩所
明石川沿い桜並

山
山
押部谷
近江の里

近江寺★

性海寺の里

押部谷町高和

藤原橋★

高家台七丁目
西神工業団地入口★

西神中央入口★

押部谷町養田

西神

高家台二丁目
興原池

高家台六丁目

高家台三丁目

池

高家台二丁目

107

180

100

丘西町二丁目

丘西町三丁目

丘西町四丁目

丘西町五丁目

丘西町六丁目

丘西町七丁目

丘西町八丁目

丘西町九丁目

丘西町十丁目

丘西町十一丁目

丘西町十二丁目

丘西町十三丁目

丘西町十四丁目

丘西町十五丁目

丘西町十六丁目

丘西町十七丁目

丘西町十八丁目

丘西町十九丁目

丘西町二十丁目

丘西町二十一丁目

丘西町二十二丁目

丘西町二十三丁目

丘西町二十四丁目

丘西町二十五丁目

丘西町二十六丁目

丘西町二十七丁目

丘西町二十八丁目

丘西町二十九丁目

丘西町三十丁目

丘西町三十一丁目

丘西町三十二丁目

丘西町三十三丁目

丘西町三十四丁目

丘西町三十五丁目

丘西町三十六丁目

丘西町三十七丁目

丘西町三十八丁目

丘西町三十九丁目

丘西町四十丁目

丘西町四十一丁目

丘西町四十二丁目

丘西町四十三丁目

丘西町四十四丁目

丘西町四十五丁目

丘西町四十六丁目

丘西町四十七丁目

丘西町四十八丁目

丘西町四十九丁目

丘西町五十丁目

丘西町五十一丁目

丘西町五十二丁目

丘西町五十三丁目

丘西町五十四丁目

丘西町五十五丁目

丘西町五十六丁目

丘西町五十七丁目

丘西町五十八丁目

丘西町五十九丁目

丘西町六十丁目

丘西町六十一丁目

丘西町六十二丁目

丘西町六十三丁目

丘西町六十四丁目

丘西町六十五丁目

丘西町六十六丁目

丘西町六十七丁目

丘西町六十八丁目

丘西町六十九丁目

丘西町七十丁目

丘西町七十一丁目

丘西町七十二丁目

丘西町七十三丁目

丘西町七十四丁目

丘西町七十五丁目

丘西町七十六丁目

丘西町七十七丁目

丘西町七十八丁目

丘西町七十九丁目

丘西町八十丁目

丘西町八十一丁目

丘西町八十二丁目

丘西町八十三丁目

丘西町八十四丁目

丘西町八十五丁目

丘西町八十六丁目

丘西町八十七丁目

丘西町八十八丁目

丘西町八十九丁目

丘西町九十丁目

丘西町九十一丁目

丘西町九十二丁目

丘西町九十三丁目

丘西町九十四丁目

丘西町九十五丁目

丘西町九十六丁目

丘西町九十七丁目

丘西町九十八丁目

丘西町九十九丁目

丘西町一百丁

丘西町一百一丁目

丘西町一百二丁目

丘西町一百三丁目

丘西町一百四丁目

丘西町一百五丁目

丘西町一百六丁目

丘西町一百七丁目

丘西町一百八丁目

丘西町一百九丁目

丘西町二百丁

丘西町二百一丁目

丘西町二百二丁目

丘西町二百三丁目

丘西町二百四丁目

丘西町二百五丁目

丘西町二百六丁目

丘西町二百七丁目

丘西町二百八丁目

丘西町二百九丁目

丘西町三百丁

丘西町三百一丁目

丘西町三百二丁目

丘西町三百三丁目

丘西町三百四丁目

丘西町三百五丁目

丘西町三百六丁目

丘西町三百七丁目

丘西町三百八丁目

丘西町三百九丁目

丘西町四百丁

丘西町四百一丁目

丘西町四百二丁目

丘西町四百三丁目

丘西町四百四丁目

丘西町四百五丁目

丘西町四百六丁目

丘西町四百七丁目

丘西町四百八丁目

丘西町四百九丁目

丘西町五百丁

神出の里

★福住休憩所
明石川沿い桜並木

近江の里

近江寺

性海寺の里

藤原橋
押部谷
高和

西神工業団地入口★
クニミヤ神戸

西神中央入口★

神戸ワイナリー(農業公園)

高塚台

不二家神戸 神戸工場直売店

高塚公園

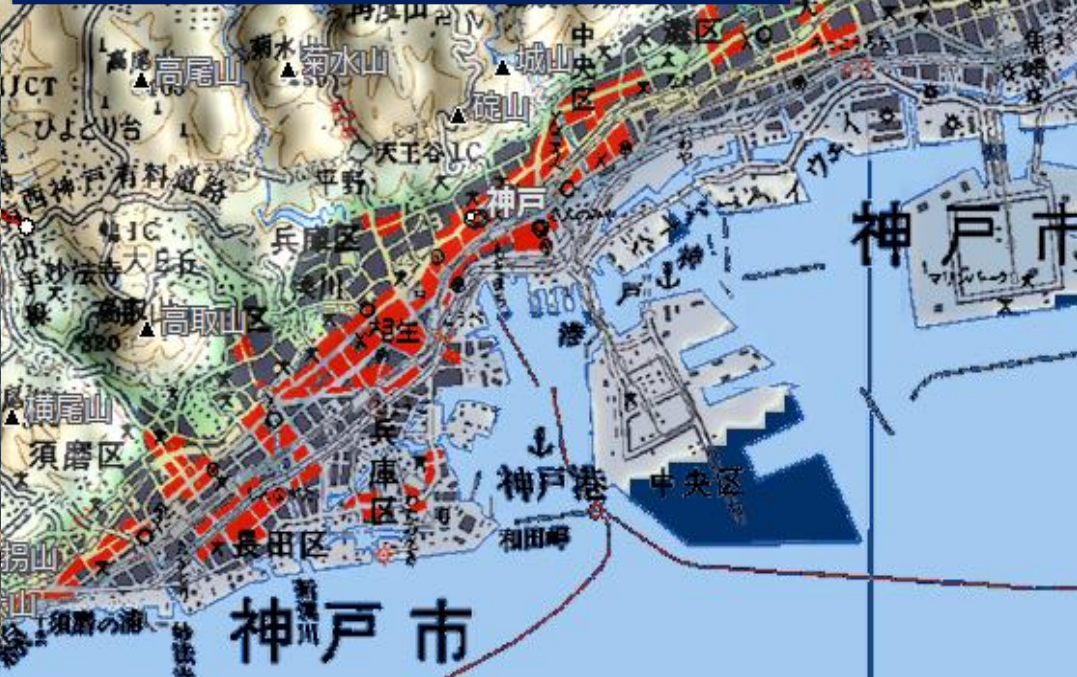
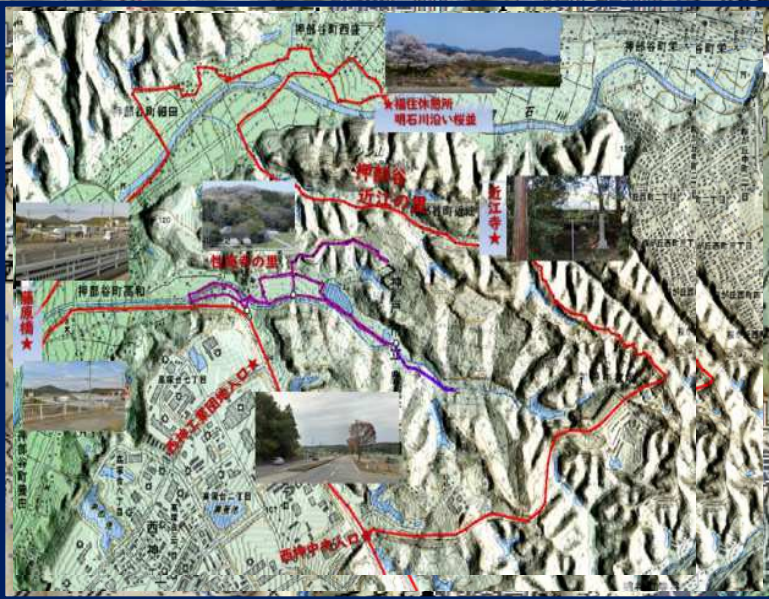
榎谷町

兵庫県立神戸高塚高

明石ゴルフ倶楽部

神戸市 西区役所

西神中央



桜咲く押部谷 明石川土手の桜



明石川沿い桜並木 押部谷西盛 自転車道福住休憩所周辺 2022.4.6.



明石川沿い桜並木 押部谷西盛 自転車道福住休憩所周辺 2022.4.6.




明石川沿い桜並木 押部谷西盛 自転車道福住休憩所周辺 2022.4.6.



明石川沿い桜並木 押部谷西盛 自転車道福住休憩所周辺 2022.4.6.

まるで隠れ里のごとくひっそりと谷筋の奥に残る古い里 押部谷近江の里へ
節分の「鬼おどり」が残る古い田舎の里です



県道83号線 近江寺の標識があり、ここから近江の里を通り、尾根筋を通り抜け、
地図では性海寺の北側で県道85号線へ抜けられるはず。以前通り抜けたことあるのですが、もう
記憶なし




左手には近江の里と性海寺の里を分ける枝尾根 右手には雄岡山と雌岡山裏から超えてき
た送電線が見える

Google Earthより



近江の里へ入る枝谷の入口でも 春の田園地の整備 野焼きの真っ最中
押部谷の狭い枝谷の奥へ 近江の里 近江寺への道が続いています
2022.4.6.



谷筋に入ると 里山に挟まれた狭い一本道 両側の里山は芽吹いて素晴らしい春色に
原チャリでなければ なんとも思わず通り抜けてでしょうが、
原チャリ走らせながら きよろきよろと 近場の里山もこんなに素晴らしい

押部谷の狭い枝谷の奥 近江の里 近江寺への道で 2022.4.6.



押部谷の狭い枝谷の奥 近江の里が現れた 2022.4.6.

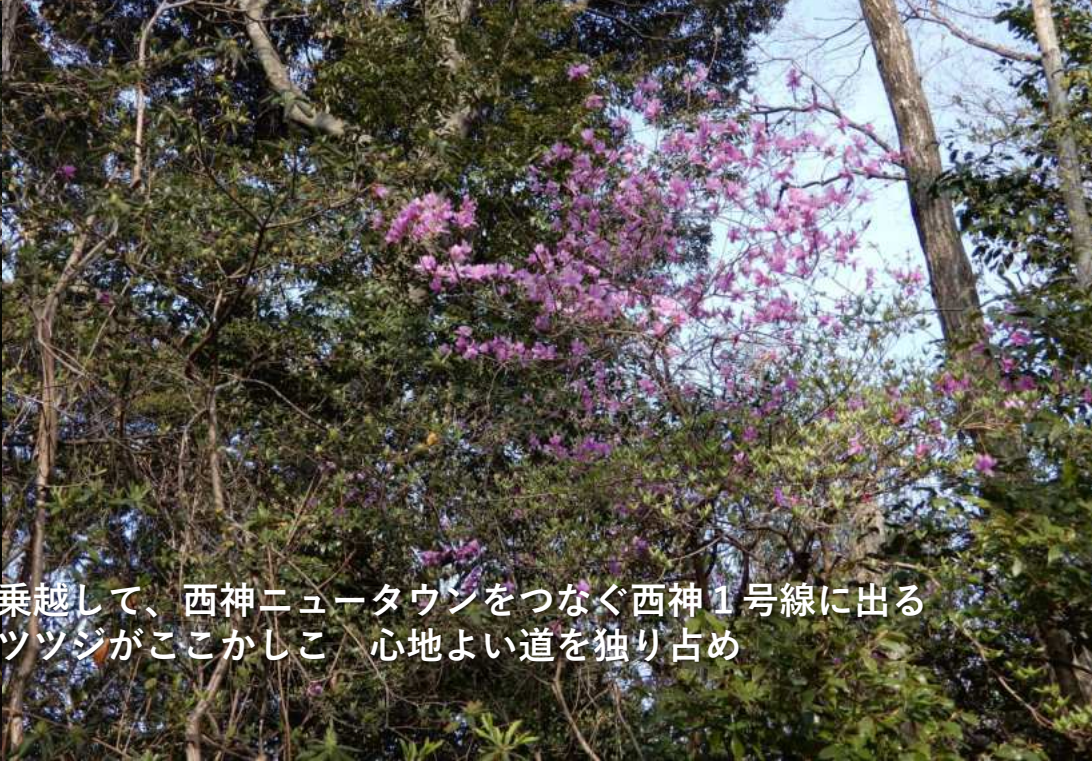
里山に挟まれた狭い道 両側の里山は芽吹いて素晴らしい春色に
里の中を通り抜け、近江寺の大門を過ぎるとまもなく節分鬼踊りの近江寺
一度見たいと思っているのですが・・・



押部谷の狭い枝谷の奥 近江寺 2022.4.6.
里山に挟まれた車一台の狭い道を通り、集落を抜けた近江の里の東のはずれ
646年（大化2年）に法道が開基と伝わる。
本尊の十一面千手観音は琵琶湖の水面に浮かぶ桜の木を法道が刻んだもの
と伝わる秘仏で、60年に一度開帳される。



押部谷の狭い枝谷の奥 近江寺 2022.4.6.



近江寺から道はさらに細くなり、尾根を乗越して、西神ニュータウンをつなぐ西神1号線に出る
しっかりした山中の道。山はもうミツバツツジがここかしこ 心地よい道を独り占め



近江の里から東へ山中の尾根を乗越す一本道に通行止の看板
びっくりしましたが、何とかそのまま乗越して幹線道路へ

●六甲のめぐみ前
県道65号

櫛谷寺谷
神戸牛牧場

神戸牛牧場

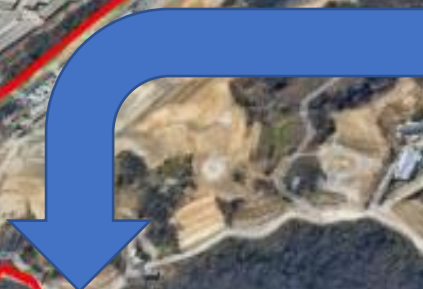
性海寺の里
農業公園

法人 高和第一生産組合

近江寺

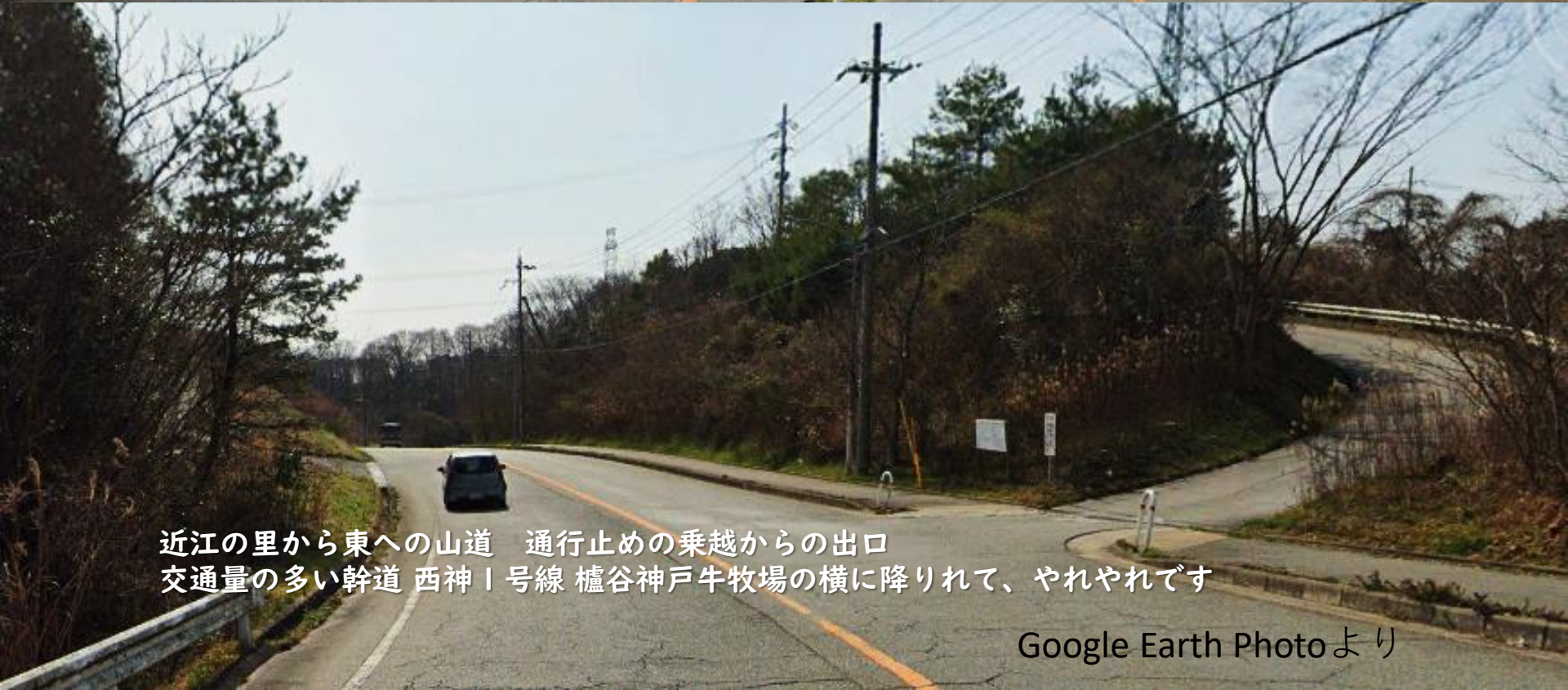


視界が開けた尾根の乗越で立入禁止の工事看板
道はつづいているし、車の動きもなし
そのまま下りました





道の向こうに櫛谷神戸牛牧場の牛舎 このまま南へ下れば。県道65号線に出られる



近江の里から東への山道 通行止めの乗越からの出口
交通量の多い幹道 西神1号線 櫛谷神戸牛牧場の横に降りれて、やれやれです

Google Earth Photoより



県道65号線 性海寺の里の東 六甲の恵み横に出て、県道65号線に戻り白川峠へ
 山中の一本道での通行止め まあ何とかなんと降りてきましたが・・・



交通案内板と共によく知る県道65号とま交差点 伊川谷へ下る工業団地横
 久しぶりの原チャリwalk ちょっと緊張もしましたが、やれやれ 終了です

2. 桜咲く押部谷 明石川土手の桜を眺めて 押部谷の枝谷 近江の里 春の里山を駆け抜けて帰る 2022.4.6.

西神戸神出から自宅のある須磨妙法寺へ帰る時には西神戸の丘陵地をつなぐ県道65号神戸加古川姫路線を白川峠へ向かうのですが、今日は押部谷高和 藤原橋から北へ明石川沿いを駆けて桜の土手を眺めた後 押部谷の枝谷 近江の里の谷筋を抜けて帰る。県道65号が通る性海寺の里の一つ北側の隠れ里のごとくひっそりと残る古い里 押部谷近江の里を抜けて帰ってきました。この近江の里も性海寺の里と同じく 節分の「鬼おどり」が残る古い田舎の里

忘れていた西神戸春 里山の美しさ
神戸にも田舎あり 新しい春の散歩道発見にもなりました
また、里それぞれ 地域自慢の桜の景色
観光地にはないゆったりした時間が流れる桜見物もできました。





2022の春の里山を駆ける久しぶりの原チャリwalk
気にかかっていた雌岡山の春の妖精「カタクリの花」も健在で
久しぶりのうれしい出会いに
西神戸の里山がこんなに美しく心地よいとは
発見が一杯のwalkに

コロナと足・眼のリハビリの閉塞感一杯の中で迎えた春
戸外飛び出して 原チャリで駆けた西神戸春の里山
雌岡山のカタクリの花を訪ねた帰り、
春の里山の美しさにふと頭に浮かんだ
押部谷明石川沿い桜堤と
忘れていた谷筋の奥の近江寺の道。
新しい原チャリ散歩道の発見になりました。
素晴らしい春景色に心地よく、うれしいwalkに
西神戸の春 一日満喫できたwalk
また 元気出して毎日を

God be walk From Kobe 2022年4月
Mutsu Nakanishi



白川峠の北西 丘陵地が続く西神戸里山の春景色walk 原チャリで駆ける
2022.4.6.

里山は芽吹き 桜咲く里も春作業 新生の息吹に満ちて 春うらら
素晴らしい里山の春景色 心も晴れ晴れ、西神戸春の里歩きを楽しむ

1. 神出の里 雌岡山の春の妖精「カタクリの花」を訪ねました
数は少なくなりましたが、愛らしい姿に出会えました
2. 桜咲く押部谷 明石川土手の桜を眺めて
押部谷の枝谷 近江の里 春の里山を駆け抜けて帰る